

ホルモン受容体陽性乳癌細胞における HER3 および ER の分解とその分解責任因子との相互関係の解明研究

1. 研究の対象

「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」にご同意いただき、PDX 株が樹立できた患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

生体内のタンパク質は合成と分解のバランスにより調節されています。タンパク質の分解機構は、主に標的タンパク質を選択的に分解するユビキチン・プロテアソーム系と非選択的に分解するオートファジー・リソソーム系の経路が知られていますが、何らかの作用によりタンパク質が分解されずに蓄積し、癌や神経変性疾患につながる事が明らかとなってきました。

この研究では、乳がんにおいて重要なタンパク質である HER3 と ER のタンパク分解の機序を解明するため、患者腫瘍移植モデル（PDX モデル）を用いて評価を行うことを目的とします。

なお、この研究は京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科との共同研究のもと行われます。

研究実施期間：研究許可日～2028 年 07 月 31 日

研究対象症例期間：1999 年 1 月 1 日～2021 年 09 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」において樹立された PDX 株

情報：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」において収集された、腫瘍の情報（ステージ、がん種など）、身体所見、血液検査、画像検査の結果、治療の効果など

4. 試料・情報の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌等で本研究に関わるしかなるべき研究者が公表致します。また遺伝子解析のデータは、科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター（National Bioscience Database Center: NBDC）が運営する NBDC ヒトデータベースに登録し、国内外の研究機関や製薬企業等の民間企業において実施される研究に活用されます。個人の同意につながらない、情報は制限のないデータとして不特定

多数の者に利用され、個人毎のデータ等は制限のあるデータとし、審査を経て承認された研究者のみが利用します。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への試料と情報の提供は匿名化した状態で行われ、特定の関係者以外が情報にアクセスできない状態で行います。対応表は、課題番号 2015-123 研究の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野 濱田 哲暢（研究代表者・責任者）

柳下 薫寛（研究事務局）

京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

須賀 淳子（研究責任者）

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究代表者・責任者）：

国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野 濱田哲暢

104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

03-3542-2511